

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	ライティング実習		担当教員	遠藤 功之	
実務経験	写真スタジオに勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
授業目的と概要					
撮影の基本である照明技術の基礎を学習します。シンクロ撮影、高速撮影、バウンス光などの照明の知識や技術を実践を通して学びます。					
到達目標					
目的に合わせたライティング（光の質など）を理解する。					
授業内容					
1, 2	スタジオ・機材説明				
3, 4	ストロボの使用方法について				
5, 6	ストロボの生光・パラソル・ボックス・ディフューズの違い				
7, 8	ポートレート撮影①				
9, 10	ポートレート撮影② 2チームに分かれモデル撮影				
11, 12	ポートレート撮影③ モデル撮影				
13, 14	ポートレート撮影④ ②と③の復習				
15, 16	ストロボ2灯ライティング				
17, 18	2灯ライティング使用しグラス撮影				
19, 20	2チームに分かれライティングでのグラデーションの作り方				
21, 22	パラソル・ディフューズ・生光のミックス撮影 箱				
23, 24	パラソル・ディフューズ・生光のミックス撮影 グラス				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	パラソルでの2灯撮影①				
29, 30	パラソルでの2灯撮影②				
31, 32	ボックスディフューズでの撮影①				
33, 34	ボックスディフューズでの撮影②				
35, 36	ボックスディフューズでの撮影③ ①と②の復習				
37, 38	真俯瞰撮影・2灯ライティング①				
39, 40	真俯瞰撮影・2灯ライティング②				
41, 42	天トレライティングでの撮影① 光の流れ				
43, 44	天トレライティングでの撮影② 光の流れ				
45, 46	他科との合同授業 ポスター・POP撮影				
47, 48	他科との合同授業 ポスター・POP撮影				
49, 50	他科との合同授業 ポスター・POP撮影				
51, 52	他科との合同授業 ポスター・POP撮影				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	フィルム撮影		担当教員	阿部 和美	
実務経験	写真事務所に勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
授業目的と概要					
フィルムカメラ（銀塩カメラ）での撮影やモノクロ・カラー・ネガ・ポジの知識、現像の基礎、紙焼き印画紙の使用方法などを、撮影や暗室での作業の中で学びます。					
到達目標					
カメラやフィルムの仕組みを理解する。					
授業内容					
1, 2	オリエンテーション・暗室薬品準備				
3, 4	写真のしくみ・フォトグラム				
5, 6	構図概論・フィルム装填				
7, 8	35ミリフィルム撮影（スタジオ）				
9, 10	35ミリフィルム現像・ベタ焼き				
11, 12	35ミリフィルムプリント①				
13, 14	35ミリフィルムプリント②				
15, 16	35ミリフィルム撮影（屋外）				
17, 18	35ミリフィルム現像・ベタ焼き				
19, 20	35ミリフィルムプリント①				
21, 22	35ミリフィルムプリント②				
23, 24	覆い焼き・焼き込み				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	Kodak No. 2 ブローニーカメラでの撮影実験				
29, 30	中判カメラでの撮影				
31, 32	120フィルムの現像とプリント				
33, 34	フォトモンタージュ①多重露光撮影				
35, 36	現像とプリント				
37, 38	フォトモンタージュ②印画紙多重露光				
39, 40	ペンジュラム撮影と現像				
41, 42	プリント				
43, 44	ポートレート撮影				
45, 46	現像プリント				
47, 48	大判フィルムカメラ撮影				
49, 50	大判フィルムの現像とプリント				
51, 52	後期まとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	フォトプラン		担当教員	阿部 和美	
実務経験	写真スタジオに勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	1	履修学期	前期	授業形態	実習
授業数	前期13	単位数	前期2	必須／選択	必須
授業目的と概要					
写真を通して見た人に何を伝えたいのか、コンセプト（ねらい）・撮影方法・展示についてプランを作成し撮影します。					
到達目標					
言葉よりインパクト（伝える力）のある写真を撮り表現する					
授業内容					
1	進級制作オリエンテーション				
2	進級制作個人面談				
3	進級制作個人面談				
4	写真表現のための基礎①				
5	写真表現のための基礎②				
6	写真表現のための基礎③				
7	写真表現のための基礎④				
8	写真表現のための基礎④				
9	写真表現のための基礎④				
10	写真表現のための基礎④				
11	進級制作についての個人面談				
12	進級制作についての個人面談				
13	前期まとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	創作写真実習 I		担当教員	小野寺 真希	
実務経験	写真スタジオに勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26／後期26	単位数	前期4／後期4	必須／選択	必須
授業目的と概要					
写真を通じ、いかに相手に自分の考えや想いを伝えられるかを考えながら撮影します。さまざまな撮影技法を習得しながら、個性あふれるオリジナルの作品を制作します。					
到達目標					
カメラ、写真の基本を習得し、自分が撮りたい写真がどのような写真なのかを探し出す。					
授業内容					
1, 2	カメラ基礎1				
3, 4	カメラ基礎2				
5, 6	カメラ基礎3				
7, 8	ポートレート撮影1				
9, 10	ポートレート撮影2				
11, 12	ポートレート撮影3				
13, 14	商品イメージ撮影1				
15, 16	商品イメージ撮影2				
17, 18	商品イメージ撮影3				
19, 20	自由課題1				
21, 22	自由課題2				
23, 24	自由課題3				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	合成用写真撮影1				
29, 30	合成用写真撮影2				
31, 32	合成用写真撮影3				
33, 34	カレンダー用イメージ撮影1				
35, 36	カレンダー用イメージ撮影2				
37, 38	カレンダー用イメージ撮影3				
39, 40	カレンダー用イメージ撮影4				
41, 42	作品撮影1				
43, 44	作品撮影2				
45, 46	作品撮影3				
47, 48	作品撮影4				
49, 50	作品撮影5				
51, 52	後期まとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	フォトマスター検定 I		担当教員	佐々木 博之	
実務経験	写真スタジオ経営。フォトグラファー				
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
写真とカメラに関する知識を習得し、スキルアップや就職などに生かします。					
到達目標					
フォトマスター検定 3級または2級の取得を目指します。					
授業内容					
1	カメラ				
2	カメラ				
3	カメラ				
4	カメラ				
5	カメラ				
6	カメラ				
7	カメラ				
8	カメラ				
9	カメラ				
10	カメラ				
11	カメラ				
12	カメラ				
13	前期まとめ				
14	レンズ				
15	レンズ				
16	レンズ				
17	レンズ				
18	レンズ				
19	レンズ				
20	撮影用周辺機材				
21	撮影用周辺機材				
22	撮影用周辺機材				
23	撮影用周辺機材				
24	撮影用周辺機材				
25	機材管理				
26	後期まとめ				
教科書・資料等	フォトマスター検定公式テキスト				
成績評価方法・基準 (100点満点、60点以上を合格とする)					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100~80点	A評価	79~70点	B評価	69~60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	写真総論 I		担当教員	佐々木 博之	
実務経験	写真スタジオ経営。フォトグラファー				
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
写真についての知識を深め、実際の撮影に活かして技術を磨き、フォトコンテストに応募します。					
到達目標					
フォトマスター検定3級または2級レベルの知識を習得し、フォトコンテストでの受賞を目指します。					
授業内容					
1	写真総論				
2	公募制作・実習				
3	写真総論				
4	写真総論				
5	写真総論				
6	写真総論				
7	写真総論				
8	写真総論				
9	写真総論				
10	写真総論				
11	写真総論				
12	公募制作・実習				
13	前期まとめ				
14	写真総論				
15	公募制作・実習				
16	写真総論				
17	写真総論				
18	写真総論				
19	写真総論				
20	写真総論				
21	写真総論				
22	写真総論				
23	写真総論				
24	公募制作・実習				
25	写真総論				
26	後期まとめ				
教科書・資料等	「フォトコンライフ」「公募ガイド」				
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	フォトレタッチ I		担当教員	後藤 高紀	
実務経験	広告制作会社に勤務し、デザイン制作経験あり。フリーのデザイナー				
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
授業目的と概要					
Photoshopを使用し、撮影した写真の修正・レタッチなど、編集処理のテクニックを学びます。					
到達目標					
基本的な色の補正と簡単な合成技術の習得。					
授業内容					
1, 2	Mac・Adobeソフト基本設定、操作				
3, 4	Photoshop基本（ツールの役割など）				
5, 6	Photoshop基本（色補正・ゴミ消しの方法）				
7, 8	Lightroom基本操作・色補正				
9, 10	Illustrator基本（ツールの役割など）				
11, 12	Illustrator（レイアウトの基本）				
13, 14	風景レタッチ				
15, 16	商品レタッチ				
17, 18	合成写真（心霊写真）				
19, 20	人物レタッチ				
21, 22	前期課題発表・制作				
23, 24	前期課題制作・提出				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	料理レタッチ				
29, 30	デザイン基本（DM）				
31, 32	デザイン基本（チラシ・ポスター）				
33, 34	合成練習（風景と人物）				
35, 36	アハ体験制作				
37, 38	プレゼン資料制作の基本・練習				
39, 40	コラージュ作品制作				
41, 42	コラージュ作品制作				
43, 44	コラージュ作品制作				
45, 46	後期課題発表・制作				
47, 48	後期課題制作				
49, 50	後期課題制作				
51, 52	後期まとめ/進級作品制作				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	映像実習 I		担当教員	作間 葉里	
実務経験	フリーのフォトグラファーとして活動。				
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
授業目的と概要					
デジタルカメラを使用した、カメラ割り、アングルなどの撮影技術や、ビデオ編集ソフトを利用した繋ぎ合わせ編集・トランジションの使用法などを学習します。					
到達目標					
Adobe Premiere Proを使用して、イメージ動画3本・CM動画1本・ショートムービー1本の計5本制作する。					
授業内容					
1, 2	自己紹介・動画撮影と動画編集の基礎				
3, 4	動画撮影と動画編集の基礎				
5, 6	ロケーションイメージ動画（撮影）遠隔地撮影（1・2年生合同）				
7, 8	ロケーションイメージ動画（編集）				
9, 10	ロケーションイメージ動画（編集）				
11, 12	ロケーションイメージ動画（編集）				
13, 14	学校内でのイメージ動画（撮影）				
15, 16	学校内でのイメージ動画（撮影）				
17, 18	学校内でのイメージ動画（編集）				
19, 20	学校内でのイメージ動画（編集）				
21, 22	学校内でのイメージ動画（編集）				
23, 24	映像拝見部・進捗確認・質疑応答・各自編集				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	CM動画オマージュ（企画）				
29, 30	CM動画オマージュ（撮影）				
31, 32	CM動画オマージュ（編集）				
33, 34	CM動画オマージュ（編集）				
35, 36	ロケーションイメージ動画（撮影）遠隔地撮影（1・2年生合同）				
37, 38	ロケーションイメージ動画（編集）				
39, 40	ロケーションイメージ動画（編集）				
41, 42	ショートムービーオマージュ（企画）				
43, 44	ショートムービーオマージュ（撮影）				
45, 46	ショートムービーオマージュ（撮影）				
47, 48	ショートムービーオマージュ（編集）				
49, 50	ショートムービーオマージュ（編集）				
51, 52	後期まとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	進級制作		担当教員	阿部 和美	
実務経験	写真スタジオに勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	1	履修学期	後期	授業形態	実習
授業数	後期13	単位数	後期2	必須／選択	必須
授業目的と概要					
コンセプトやターゲットを考え、サイズ／色／組み方などを含めた作品制作を学びます。					
到達目標					
見る人に驚きや感動を与える作品を制作する。					
授業内容					
1	進級制作 制作作業				
2	進級制作 制作作業				
3	進級制作 制作作業				
4	進級制作 制作作業				
5	進級制作 制作作業				
6	進級制作 制作作業				
7	進級制作 制作作業				
8	進級制作 制作作業				
9	進級制作 制作作業				
10	進級制作 制作作業				
11	進級制作 制作作業				
12	進級制作 制作作業				
13	進級制作 資料制作				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	イベント校外実習 I		担当教員	萬 あかね	
実務経験					
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
<p>学校内では撮影出来ない、自然を背景としたモデル撮影やドローン空撮などの撮影実習や、学校以外の展示スペースで、授業で撮影した写真を展示する「作品展」を行います。</p>					
到達目標					
<p>実際に現場に行くことでしか得られない、その場の状況や雰囲気などを体感し、作品制作や進路活動に生かす。</p>					
授業内容					
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 撮影会企画、準備、実施、レタッチ、提出などの一連の流れを体験する。</li> <li>・ 作品展企画、準備、DM制作、設営、接客などの一連の流れを体験する。</li> </ul>				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価		出席状況	50%	平常点	50%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	キャリアガイダンス I		担当教員	萬 あかね	
実務経験					
履修年次	1	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
業界の理解、社会人としての基礎知識UP、個人面談などのカウンセリング。校内行事や研修等の準備、説明などのホームルームを行います。					
到達目標					
希望進路の方向性を決定。報告、連絡、相談を徹底し、自ら進んで物事に取り組む姿勢を身に付ける。					
授業内容					
1	自己紹介、学校について、教室の使い方				
2	自己管理セミナー				
3	写真展係決め、領収証について、カメラマンの働き方①				
4	モデル撮影打ち合わせ				
5	国内研修について、カメラマンの働き方②				
6	働き方の違い				
7	著作権について				
8	ビジネスメールマナー				
9	自己分析について①				
10	自己分析について②				
11	自己分析について③				
12	モデル撮影打ち合わせ				
13	前期振り返り				
14	1・2年生合同授業：写真展について振り返り				
15	1年写真展について打ち合わせ				
16	自己分析について④振り返り				
17	履歴書の書き方①				
18	履歴書の書き方②				
19	自己PR文を書く				
20	フォトマスター検定自習				
21	フォトマスター検定自習				
22	モデル撮影1・2年生合同打ち合わせ				
23	メールで履歴書を送信する方法				
24	送付状の書き方、封筒について				
25	ビジネスマナーテスト				
26	後期振り返り				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価		出席状況	50%	平常点	50%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	商品撮影		担当教員	遠藤 功之	
実務経験	写真スタジオに勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
<b>授業目的と概要</b>					
<p>広告表現の大きなポイントとなる写真。ポスター、雑誌広告など様々なメディアに使用される広告写真の撮影技術を学びます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>商品の質感、色味を表現し、クライアントやディレクターなどのリクエストに対応出来るスキルを身に付ける。</p>					
<b>授業内容</b>					
1, 2	1年次でのライティング復習①				
3, 4	1年次でのライティング復習②				
5, 6	3灯ライティング				
7, 8	雑貨デザイン科の作品撮影				
9, 10	雑貨デザイン科の作品撮影				
11, 12	1灯ライティング グラデーションの作り方				
13, 14	1灯ライティング ハイライト				
15, 16	1灯ライティング ハイライト+グラデーション				
17, 18	1灯ライティング グラデーション+α				
19, 20	透過光での商品撮影				
21, 22	透過光での商品撮影				
23, 24	ラフ提出				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	広告ポスター撮影① 人物				
29, 30	広告ポスター撮影② 人物				
31, 32	広告ポスター撮影③ 人物				
33, 34	雑貨デザイン科との合同授業 販売会POP作成				
35, 36	雑貨デザイン科との合同授業 販売会POP作成				
37, 38	雑貨デザイン科との合同授業 販売会POP作成				
39, 40	雑貨デザイン科との合同授業 販売会POP作成				
41, 42	卒業制作個人ポスター POP作成				
43, 44	卒業制作個人ポスター POP作成				
45, 46	卒業制作個人ポスター POP作成				
47, 48	卒業制作個人ポスター POP作成				
49, 50	卒業制作個人ポスター POP作成				
51, 52	後期まとめ				
<b>教科書・資料等</b>					
<b>成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）</b>					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	ポートレート撮影		担当教員	阿部 和美	
実務経験	写真事務所に勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
授業目的と概要					
雑誌、ポスター、Webサイトなどさまざまなメディアに利用されるポートレートの撮影技術を実践的に学びます。					
到達目標					
商業写真におけるポートレート撮影を理解する。					
授業内容					
1, 2	ポートレートにおける心理学とパーソナルカラーと骨格診断				
3, 4	商業写真におけるルール・焦点距離とアングル				
5, 6	被写体のベストアングルをさぐる				
7, 8	証明写真のライティングとスタイリング				
9, 10	証明写真 撮影 リハーサル				
11, 12	模擬面接希望者の証明写真 撮影実習				
13, 14	屋外撮影①（日中シンクロ）				
15, 16	外付けストロボのワイヤレスライティング				
17, 18	スポーツ写真撮影・集合写真撮影				
19, 20	ヘアメイク・スタイリング・ポージングの役割と方法				
21, 22	1灯ライティングとレフ板				
23, 24	2灯ライティングとレフ板				
25, 26	レタッチと前期講評				
27, 28	ポートレートについての実験				
29, 30	スタジオでの多灯ライティング				
31, 32	レンズフィルター				
33, 34	プロジェクター撮影				
35, 36	ペンライトアート撮影				
37, 38	カラーフィルター撮影				
39, 40	ニューボーンフォト				
41, 42	屋外撮影②（まとめ）				
43, 44	創作ポートレート撮影				
45, 46	創作ポートレート撮影				
47, 48	創作ポートレート撮影				
49, 50	創作ポートレート撮影				
51, 52	後期のまとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	創作写真实習Ⅱ		担当教員	小野寺 真希	
実務経験	写真スタジオに勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26／後期26	単位数	前期4／後期4	必須／選択	必須
授業目的と概要					
<p>写真を通じ、いかに相手に自分の考えや想いを伝えられるかを考えながら撮影します。さまざまな撮影技法を習得しながら、個性あふれるオリジナルの作品を制作します。</p>					
到達目標					
<p>自分が撮りたいと思う写真を撮れるようになる。</p>					
授業内容					
1, 2	1年次の確認				
3, 4	実習・イメージの具現化				
5, 6	実習・イメージの具現化				
7, 8	実習・イメージの具現化				
9, 10	実習・イメージの具現化				
11, 12	実習・イメージの具現化				
13, 14	実習・イメージの具現化				
15, 16	実習・イメージの具現化				
17, 18	実習・イメージの具現化				
19, 20	実習・イメージの具現化				
21, 22	実習・イメージの具現化				
23, 24	実習・イメージの具現化				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	実習・創造する				
29, 30	実習・創造する				
31, 32	実習・創造する				
33, 34	実習・創造する				
35, 36	実習・創造する				
37, 38	実習・創造する				
39, 40	実習・創造する				
41, 42	実習・創造する				
43, 44	実習・創造する				
45, 46	実習・創造する				
47, 48	実習・創造する				
49, 50	実習・創造する				
51, 52	後期まとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	フォトマスター検定Ⅱ		担当教員	佐々木 博之	
実務経験	写真スタジオ経営。フォトグラファー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
写真とカメラに関する知識を習得し、スキルアップや就職などに生かします。					
到達目標					
フォトマスター検定2級または準1級、1級の取得を目指します。					
授業内容					
1	光				
2	光				
3	光				
4	光				
5	光				
6	撮影				
7	撮影				
8	撮影				
9	写真の仕上げ				
10	写真の仕上げ				
11	写真文化に関すること				
12	写真文化に関すること				
13	前期まとめ				
14	デジタルカメラ				
15	デジタルカメラ				
16	デジタルカメラ				
17	デジタルカメラ				
18	デジタルカメラ				
19	フォトレタッチ				
20	フォトレタッチ				
21	フォトレタッチ				
22	フィルム				
23	フィルム				
24	フィルム				
25	フィルム				
26	後期まとめ				
教科書・資料等	フォトマスター検定公式テキスト				
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	写真総論Ⅱ		担当教員	佐々木 博之	
実務経験	写真スタジオ経営。フォトグラファー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
写真についての知識を深め、実際の撮影に活かして技術を磨き、フォトコンテストに応募します。					
到達目標					
フォトマスター検定3級または2級レベルの知識を習得し、フォトコンテストでの受賞を目指します。					
授業内容					
1	写真総論				
2	公募制作・実習				
3	写真総論				
4	写真総論				
5	写真総論				
6	写真総論				
7	写真総論				
8	写真総論				
9	写真総論				
10	写真総論				
11	写真総論				
12	公募制作・実習				
13	前期まとめ				
14	写真総論				
15	公募制作・実習				
16	写真総論				
17	写真総論				
18	写真総論				
19	写真総論				
20	写真総論				
21	写真総論				
22	写真総論				
23	写真総論				
24	公募制作・実習				
25	写真総論				
26	後期まとめ				
教科書・資料等	「フォトコンライフ」「公募ガイド」				
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	フォトレタッチⅡ		担当教員	後藤 高紀	
実務経験	広告制作会社に勤務し、デザイン制作経験あり。フリーのデザイナー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
授業目的と概要					
撮影した作品の色・コントラスト・シャープネス・ノイズチェック・明るさ・彩度・色相調整などを始め、PCを利用しての写真データの加工・編集などを行います。					
到達目標					
高度な合成技術を身に付け、思い通りの作品を制作出来るようになる。					
授業内容					
1, 2	1年時の復習				
3, 4	レタッチ応用				
5, 6	レタッチ応用（光の表現など）				
7, 8	レタッチ応用（複雑な被写体の切り抜き・動物など）				
9, 10	レタッチ応用（ぼかしの表現・飛沫加工など）				
11, 12	雑誌のデザイン（レイアウトや書体選びなど）				
13, 14	雑誌のデザイン（レイアウトや書体選びなど）				
15, 16	ポートフォリオ制作				
17, 18	ポートフォリオ制作				
19, 20	ポートフォリオ制作				
21, 22	広告制作（撮影～デザインまで）				
23, 24	広告制作（撮影～デザインまで）				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	コラージュ作品制作				
29, 30	コラージュ作品制作				
31, 32	コラージュ作品制作				
33, 34	冊子制作（企画話し合い）				
35, 36	冊子制作（台割り・担当ページ決めなど）				
37, 38	冊子制作に関わる撮影・レタッチ・編集作業（各担当ページ）				
39, 40	冊子制作に関わる撮影・レタッチ・編集作業（各担当ページ）				
41, 42	冊子制作に関わる撮影・レタッチ・編集作業（各担当ページ）				
43, 44	冊子制作に関わる撮影・レタッチ・編集作業（各担当ページ）				
45, 46	冊子制作に関わる撮影・レタッチ・編集作業（各担当ページ）				
47, 48	冊子制作に関わる撮影・レタッチ・編集作業（各担当ページ）				
49, 50	冊子制作（入稿）				
51, 52	後期まとめ				
教科書・資料等	Photoshop 10年使える逆引き手帖				
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	映像実習Ⅱ		担当教員	作間 葉里	
実務経験	フリーのフォトグラファーとして活動。				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26/後期26	単位数	前期4/後期4	必須/選択	必須
授業目的と概要					
デジタルカメラを使用した、カメラ割り、アングルなどの撮影技術や、ビデオ編集ソフトを利用した繋ぎ合わせ編集・トランジションの使用法などを学習します。					
到達目標					
Adobe Premiere Proを使用して、イメージ動画2本・Cinematic映像2本・インタビュー映像1本の計5本制作する。					
授業内容					
1, 2	映像拝見部・進捗確認・質疑応答・各自編集				
3, 4	映像拝見部・進捗確認・質疑応答・各自編集				
5, 6	ロケーションイメージ動画（撮影）遠隔地撮影。1, 2年生合同				
7, 8	ロケーションイメージ動画（編集）				
9, 10	ロケーションイメージ動画（編集）				
11, 12	ロケーションイメージ動画（編集）				
13, 14	Cinematic Portrait（撮影）				
15, 16	Cinematic Portrait（撮影）				
17, 18	Cinematic Portrait（編集）				
19, 20	Cinematic Portrait（編集）				
21, 22	Cinematic Portrait（編集）				
23, 24	映像拝見部・進捗確認・質疑応答・各自編集				
25, 26	前期まとめ				
27, 28	Cinematic Vlog（撮影）				
29, 30	Cinematic Vlog（撮影）				
31, 32	Cinematic Vlog（編集）				
33, 34	Cinematic Vlog（編集）				
35, 36	ロケーションイメージ動画（撮影）遠隔地撮影。1, 2年生合同				
37, 38	ロケーションイメージ動画（編集）				
39, 40	ロケーションイメージ動画（編集）				
41, 42	インタビュー映像（企画）				
43, 44	インタビュー映像（撮影）				
45, 46	インタビュー映像（撮影）				
47, 48	インタビュー映像（編集）				
49, 50	インタビュー映像（編集）				
51, 52	後期まとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	卒業制作		担当教員	小野寺 真希	
実務経験	写真スタジオに勤務し、撮影経験がある。フォトグラファー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
2年間の集大成として制作する卒業制作。コンセプトやターゲットを考え、サイズ/色/組み方などを含めた撮影から、展示方法までを学びます。					
到達目標					
自分が表現したい内容を、写真を通して正しく伝えられるようにする。					
授業内容					
1	作品の方向性を確認				
2	制作①				
3	制作②				
4	制作③				
5	制作④				
6	制作⑤				
7	制作⑥				
8	制作⑦				
9	制作⑧				
10	制作⑨				
11	制作⑩				
12	制作⑪				
13	制作内容・進行状況確認				
14	原点回帰①				
15	原点回帰②				
16	原点回帰③				
17	原点回帰④				
18	原点回帰⑤				
19	原点回帰⑥				
20	原点回帰⑦				
21	原点回帰⑧				
22	原点回帰⑨				
23	原点回帰⑩				
24	原点回帰⑪				
25	原点回帰⑫				
26	制作内容・進行状況確認				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	イベント校外実習Ⅱ		担当教員	萬 あかね	
実務経験					
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
<p>学校内では撮影出来ない、自然を背景としたモデル撮影やドローン空撮などの撮影実習や、学校以外の展示スペースで、授業で撮影した写真を展示する「作品展」を行います。</p>					
到達目標					
<p>実際に現場に行くことでしか得られない、その場の状況や雰囲気などを体感し、作品制作や進路活動に生かす。</p>					
授業内容					
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 撮影会企画、準備、実施、レタッチ、提出などの一連の流れを体験する。</li> <li>・ 作品展企画、準備、DM制作、設営、接客などの一連の流れを体験する。</li> </ul>				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価		出席状況	50%	平常点	50%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 写真映像科					
科目名	キャリアガイダンスⅡ		担当教員	萬 あかね	
実務経験					
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13/後期13	単位数	前期2/後期2	必須/選択	必須
授業目的と概要					
業界の理解、社会人としての基礎知識UP、個人面談などのカウンセリング。校内行事や研修等の準備、説明などのホームルームを行います。					
到達目標					
希望進路の方向性を決定。報告、連絡、相談を徹底し、自ら進んで物事に取り組む姿勢を身に付ける。					
授業内容					
1	年間スケジュール確認、組み立て①				
2	年間スケジュール確認、組み立て②修正				
3	キャリア診断テスト				
4	自己管理セミナー				
5	モデル撮影について1年生と打ち合わせ①				
6	モデル撮影について1年生と打ち合わせ②				
7	履歴書の書き方① 自己PR				
8	履歴書の書き方② 身だしなみ				
9	履歴書の書き方③ 送付状・お礼状について				
10	ロケーションイメージ動画（撮影）遠隔地撮影（1・2年生合同）				
11	ビジネスメールの送り方				
12	電話マナー、敬語テスト				
13	前期振り返り				
14	写真展・モデル撮影について2年生と打ち合わせ①				
15	写真展・モデル撮影について2年生と打ち合わせ②				
16	写真展・モデル撮影について2年生と打ち合わせ③				
17	後期スケジュール立て				
18	面接DVD鑑賞				
19	2科合同面接練習				
20	写真展・モデ撮について反省・振り返り				
21	自己PR、面接対策 個人面談				
22	ビジネスマナーテスト				
23	ビジネスマナーテスト答え合わせ、上座下座について				
24	アートブック作品提出・ハローワークについて、個人面談				
25	アートブック作品提出・ハローワークについて、個人面談				
26	後期振り返り/卒業作品制作				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価		出席状況	50%	平常点	50%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価